

# キイロミヤマカミキリ

## コウチュウ目カミキリムシ科

*Margites fulvidus* (Pascoe)

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

### 選定理由

南方系の甲虫で、日本海側の北限と思われ、東限にも近い。石川県を挟む福井県（冠島）と富山県にも記録があるが、県内で得られた個体数はきわめて少ない。

### 形態

体長は13～18mmで、ガッチリした体形である。触角は太く、オスでは体長の1.5倍ある。体色は赤褐色で、前胸は黒く、上翅は黄色の微毛で被われ、黄褐色に見える。

### 国内分布

本州（関東以西）、冠島、淡路島、四国、竹島、高知県沖ノ島、九州、対馬、平戸島、馬渡島、天草、黒島、種子島、屋久島、口之永良部島、中之島、奄美大島、徳之島、沖縄本島。

### 県内分布

加賀市加佐岬、金沢市金沢城址、珠洲市蛸島。

### 生態

成虫は平野部のスダジイの残る林に生息し、5～7月頃に現れる。県内では、灯火への飛来個体、スダジイに静止していた個体、スダジイの花で得られた個体が記録されている。幼虫はスダジイの衰弱部を食すという。

### 生息地の条件

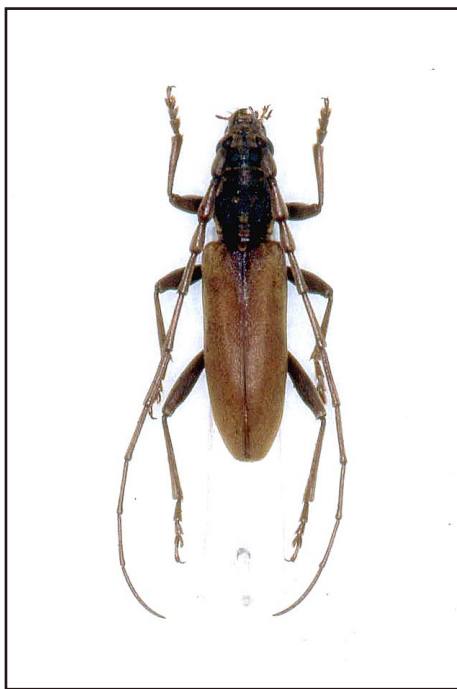
平野部に残存しているスダジイ等の照葉樹のある暖帯林に生息するため、それらの照葉樹林が現存することが重要である。

### 生存の危機

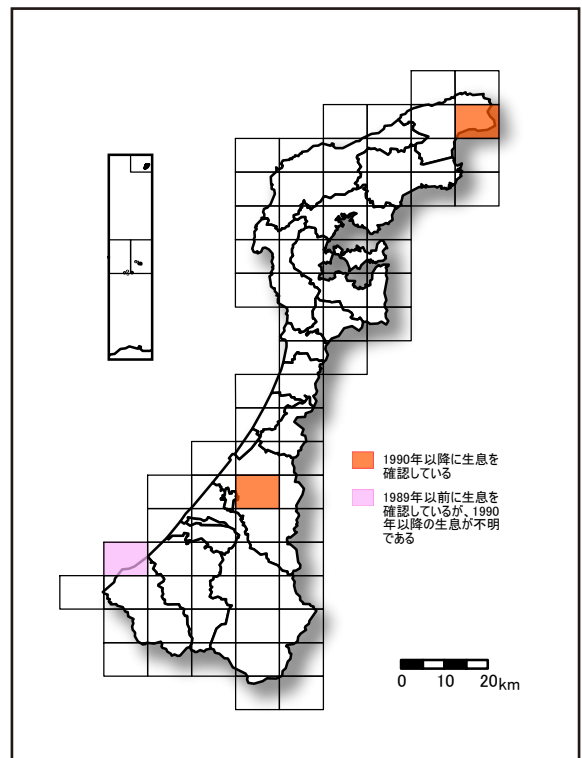
平野部に点在しているスダジイ等の照葉樹林に生息するため、生息環境は狭いうえ、生息地は大きく分断され、絶滅の危機がきわめて高い。また、生息域が平地のため、開発等で消滅する危険性が大きい。本種の生息地のひとつである金沢城址では、公園化により樹木伐採されたため、絶滅した可能性が高い。(A)

### 参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫：197-217. 石川県自然保護課.  
川瀬英夫 2002. 珠洲市で採集した甲虫3種の記録. とっくりばち, (69) : 24.



標本提供者：川瀬英夫



県内の分布